

適用病害虫の範囲及び使用方法

令和6年11月13日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クワントラネリブロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハマダラメカイ ネリムシ類 カブラハバチ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハマダラメカイ ウバ類	500倍	苗地床 1m ² 当り2L				
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハマダラメカイ ウバ類 オタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	
		20倍	1～2L/10a			無人航 空機に よる 散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハマダラメカイ カブラハバチ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハマダラメカイ カブラハバチ類 オタバコガ	2000倍	100～300L/10a				
		20倍	1～2L/10a	無人航 空機に よる 散布			
かぶ	コナガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
非結球あぶらな 科葉菜類 (タアサイ、非 結球はくさい、 なばな類を除 く)	コナガ ハモグリバエ類						2回以内
タアサイ	オタバコガ						3回以内 (灌注は1回以 内、 散布は2回以内)
非結球はくさい	ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	コナガ ハモグリバエ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クラントリニプロールを含む農薬の総使用回数	
なばな類	アオシ ハモンヨトウ コナガ ハモグリバエ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)	
	アオシ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半～定植 当日	1回	灌注		
アマランサス (茎葉)	シロバノメイガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内	
だいこん	コナガ アオシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 ハモグリバエ類					20倍		1～2L/10a
はつかだいこん	コナガ アオシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 ハモグリバエ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	1回	散布	1回	
てんさい	ヨトウムシ	4000～ 5000倍					2回 以内	2回以内
カリフラワー	コナガ アオシ ハモンヨトウ	2000倍					セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当 日
ブロッコリー		コナガ アオシ ハモンヨトウ ハイマダラノメイガ オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回 以内		
茎ブロッコリー	ハモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a	育苗期後半 ～定植当 日			1回	灌注
		100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L		20倍	1～2L/10a		

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クワントリアポール を含む農薬の 総使用回数
レタス	ヨウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	ヨウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハメグリハエ類	20倍	1～2L/10a			無人航空 機による 散布	
	ハメグリハエ類	1000～ 2000倍	100～300L/10a			散布	
非結球レタス	ヨウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハメグリハエ類 ネリムシ類 ヒメフタテンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
	ヨウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハメグリハエ類	2000倍 20倍	100～300L/10a 1～2L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布 無人航空 機による 散布	
トマト	ハメグリハエ類	1000～ 2000倍	100～300L/10a			育苗期後半 ～定植当日	
	オオタバコガ トマトキハガ	2000倍					
	トマトキハガ	100倍	1株当り25mL				
	ハメグリハエ類 コナジラミ類	200倍	1株当り50mL				
ミニトマト	トマトキハガ	100倍	1株当り25mL	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以 内、 散布は3回以内)
	ハメグリハエ類 コナジラミ類	200倍	1株当り50mL				
	ハメグリハエ類 オオタバコガ トマトキハガ	2000倍	100～300L/10a				
なす	ハスモンヨトウ ハメグリハエ類 ネリムシ類	100倍	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハメグリハエ類	200倍	1株当り50mL				
		ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内 3回以内	
1000～ 2000倍							
とうがらし類	ハスモンヨトウ コナジラミ類	100倍	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以 内、 散布は3回以内)
	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
ピーマン	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以 内、 散布は2回以内)
	ハスモンヨトウ コナジラミ類	100倍	1株当り25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クワントリアクトール を含む農薬の 総使用回数
きゅうり	ハモグリバエ類	100～ 200倍	1株当り 25mL	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
		200倍	1株当り 50mL				
	クリノメイガ	1000～ 2000倍					
ズッキーニ	ハモグリバエ類	1000倍					
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
とうがん にがうり 未成熟ささげ アスパラガス つるむらさき しそ科葉菜類 (えごま(葉)を 除く)	2回以内				2回以内		
いちご モロヘイヤ エンサイ				1回	1回	1回	
せり科葉菜類 (パセリを 除く)	ヨトウムシ				収穫7日前ま で 但し、 みつばの伏 せ込み栽培 は伏せ込み 前まで		2回以内 (灌注は1回以 内、 散布は1回以内)
パセリ	ヨトウムシ ハスモンヨトウ		収穫7日前 まで		3回以内		4回以内 (灌注は1回以 内、 定植後の処理は 3回以内)
らっきょう	ハモグリバエ類						
ねぎ	シロイモシヨトウ ネキコガ ハモグリバエ類	20倍	1～2L/10a	収穫3日前ま で	3回以内	無人航 空機に よる 散布	
	ハモグリバエ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り 0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	
豆類(種実、 ただし、だいず、 あずき、らっか せいを除く)	ハスモンヨトウ	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	ハスモンヨトウ マメシクガ ウコンメイガ オオタバコガ	16～ 32倍	0.8L/10a			無人航 空機に よる 散布	

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クアंटラニプロール を含む農薬の 総使用回数		
あずき	ハスモンヨトウ アズキノメイガ	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内		
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ オオタバコガ	16～ 32倍	0.8L/10a	収穫3日前 まで	3回以内	無人航空 機による 散布	3回以内		
未成熟 そらまめ	ハモグリバエ類	1000～ 2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで		散布		散布	
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000倍							
やまのいも	ハスモンヨトウ カビイモガ	20倍	1～2L/10a			無人航空 機による 散布			
かんしょ	ハスモンヨトウ ナガシロシタバ アリモトキリウムシ ヒルガオハモグリガ	2000～ 4000倍	100～300L/10a			散布			
		16倍	0.8～1.6L/10a			無人航空 機による 散布			
さといも しょうが	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300L/10a			散布			
		20倍	1～2L/10a			無人航空 機による 散布			
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	2000倍	100～300L/10a			収穫前日 まで		散布	散布
えごま(葉) ふき	ハスモンヨトウ								
ふき (ふきのとう)									
クレソン (土耕栽培)	コナガ			3回以内	3回以内				
ごま	オオタバコガ			2回以内	2回以内				
飼料用 とうもろこし (子実)	アヲノメイガ ツマジロクサヨトウ	2000～ 4000倍	1～2L/10a	収穫前日 まで	3回以内	無人航空 機による 散布	4回以内 (は種前の塗 沫処理は1回 以内、 は種後は3回 以内)		
		20～ 40倍							
	アヲノメイガ ツマジロクサヨトウ オオタバコガ	16倍	1.6L/10a			散布			
	オオタバコガ	2000倍	100～300L/10a			無人航空 機による 散布			
20倍		1～2L/10a	無人航空 機による 散布						
とうもろこし	アヲノメイガ オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000倍	100～300L/10a	散布					
		20倍	1～2L/10a	無人航空 機による 散布					
		16倍	1.6L/10a	無人航空 機による 散布					

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
オクラ	オタバコガ ハモシヨトウ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
		20倍	1～2L/10a			無人航空 機による 散布	
たばこ	ヨウムシ	2000倍	100～180L/10a	収穫10日 前まで	2回以内	散布	2回以内
とうき	キゲハ		100～300L/10a	発生初期	4回以内		4回以内
にんじん		20倍	1～2L/10a	収穫前日 まで	2回以内	無人航空 機による 散布	2回以内

[プレバソン®フロアブル 5 のページに戻る](#)

【成分】 クロラントラニプロール（通称：リナキシピル） 5.0%
水、界面活性剤等 95.0%

【性状】 淡褐色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。